生体機能学演習

4 単位 (選択) 毎年 (通年)

Seminar on Nutritional Physiology

二川(健(授業責任者)・教授/人間栄養科学専攻, 奥村 裕司 · 准教授/人間栄養科学専攻

平坂勝也・助教/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部、近藤茂忠・特任助教/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】栄養状態と生体機能の変化ならびに生体機能の調節について,基本的な知識を身につける.

【授業概要】栄養状態と生体機能の変化ならびに生体機能の調節について最新の代表的な論文を抄読させ、作業仮説、実験方法、及び実験結果について議論することで、自身の研究にフィ-ドバックさせると同時に重要な新しい概念や知見を学ばせる.

【授業方法】[授業方法]

【キーワード】 /キーワード/

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】各自で新しい論文を渉猟し、積極的に発表する姿勢が望まれる。 各自で新しい論文を渉猟し、積極的に発表する姿勢が望まれる。

【到達目標】[目標]

【授業計画】

- 1. 生体機能と摂食の調節
- 2. 生体機能とエネルギー代謝
- 3. 生体機能とタンパク質栄養
- 4. 生体機能とアミノ酸栄養
- 5. 生体機能と体組成の変化
- 6. 生体機能と栄養状態の評価法
- 7. 生体機能と栄養必要量
- 8. 栄養と筋蛋白質代謝
- 9. 栄養と骨代謝
- 10. 栄養と情動 (脳)
- 11. 栄養と食欲
- 12. 栄養と成長
- 13. 栄養と老化
- 14. 生体のストレス反応の分子機構とその評価法
- 15. 運動器のストレス応答とその萎縮のメカニズム

【成績評価】出席状況またはレポートにより評価する.

【教科書】[教科書]

【参考書】[参考資料]

【授業コンテンツ】http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217656

【連絡先】

- ⇒ 二川 (nikawa@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日 の16:00-17:00)
- ⇒ 奥村 (okumura@nutr.med.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 水曜日の1 6:00-18:00)
- ⇒ 平坂 (088-63-9246, katsuya9@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MaiL
- ⇒ 近藤 (088-633-9246, kondoshi@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MalL

Seminar on Nutritional Physiology

4 units (selection) each-year(whole year)

Takeshi Nikawa (Manager) · Professor / 人間栄養科学専攻、Yuushi Okumura · Associate Professor / 人間栄養科学専攻、Katsuya Hirasaka · Assistant Professor / Institute of Health Biosciences Shigetada Kondo · Designated Assistant Professor / Institute of Health Biosciences

Target〉栄養状態と生体機能の変化ならびに生体機能の調節について、基本的な知識を身につける.

Outline〉栄養状態と生体機能の変化ならびに生体機能の調節について最新の代表的な論文を抄読させ、作業仮説、実験方法、及び実験結果について議論することで、自身の研究にフィードバックさせると同時に重要な新しい概念や知見を学ばせる.

Manner〉[授業方法]

Keyword〉[キーワード]

Fundamental Lecture〉[先行科目]

Relational Lecture〉[関連科目]

Notice〉各自で新しい論文を渉猟し、積極的に発表する姿勢が望まれる。各自で新しい論文を渉猟し、積極的に発表する姿勢が望まれる。

Goal〉[目標]

Schedule>

- 1. 生体機能と摂食の調節
- 2. 生体機能とエネルギー代謝
- 3. 生体機能とタンパク質栄養
- 4. 生体機能とアミノ酸栄養
- 5. 生体機能と体組成の変化
- 6. 生体機能と栄養状態の評価法
- 7. 生体機能と栄養必要量
- 8. 栄養と筋蛋白質代謝
- 9. 栄養と骨代謝
- 10. 栄養と情動 (脳)
- 11. 栄養と食欲
- 12. 栄養と成長
- 13. 栄養と老化
- 14. 生体のストレス反応の分子機構とその評価法
- 15. 運動器のストレス応答とその萎縮のメカニズム

Evaluation Criteria〉出席状況またはレポートにより評価する.

Textbook〉[教科書]

Reference〉[参考資料]

Contents http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217656

Contact>

- ⇒ Nikawa (nikawa@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MaiL (Office Hour: 金曜日の 16:00-17:00)
- ⇒ 奥村 (okumura@nutr.med.tokushima-u.ac.jp (Office Hour: 水曜日の16:00-18:00)
- ⇒ Hirasaka (+81-88-63-9246, katsuya9@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MaiL
- ⇒ Kondo (+81-88-633-9246, kondoshi@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL